

職員一人ひとりのこころに染み渡る理念で、社会貢献を果たす

合掌苑

(社会福祉事業 / 東京都町田市 / 創業1953年)

■経営理念など 「人は尊厳をもち、権利として生きる」

■目標やビジョンなど 「社会福祉法人として社会的責任を果たす」「合掌苑に関わる全ての人を幸せにする」「(使命)より」

全ての人の権利と尊厳を守り、社会貢献を目指す

合掌苑は、高齢者や障がい者の通所や居宅サービス事業を地域で幅広く手がける社会福祉法人です。同法人の創業の物語は、昭和20年の「東京大空襲」から始まります。東京中野の寺で修行していた創業者市原秀翁さんが、焼け野原になった東京で、空襲で焼け出された被災者を境内でお世話し始めたのが福祉活動の始まりです。食糧難の時代に、何とか食べ物を差しいれたいと思った市原さんは、朝から晩まで空き地を耕して野菜や穀物を作り、収穫したものをお年寄りに食べていただく、このようなお世話に明け暮れていたそうです。